



# 2008年10月期 決算説明会

2008年12月18日（木）

株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

---

◆ 2008年10月期 決算の概況 P03～10

---

◆ 2009年10月期 業績見通し他 P11～20

---



## 2008年10月期 決算の概況

# 業績サマリー

(単位:百万円、%)

|       | 07年度   |       | 08年度   |       |        |       | 増減(対前年) |        |
|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|--------|
|       | 実績     | 対売上   | 実績     | 対売上   | 予想     | 対売上   | 額       | 率      |
| 売上高   | 28,248 |       | 30,574 |       | 29,600 |       | 2,326   | 8.2%   |
| 売上総利益 | 12,074 | 42.7% | 11,816 | 38.6% | 12,900 | 43.6% | △258    | △2.1%  |
| 営業利益  | 7,074  | 25.0% | 6,372  | 20.8% | 7,200  | 24.3% | △702    | △9.9%  |
| 経常利益  | 7,403  | 26.2% | 6,458  | 21.1% | 7,400  | 25.0% | △944    | △12.8% |
| 当期純利益 | 4,790  | 17.0% | 3,915  | 12.8% | 4,700  | 15.9% | △874    | △18.3% |

# 今回の決算のポイント

デジタルカメラ、ハードディスク等関連市場は好調。  
原材料高騰の影響等により損益面では苦戦。

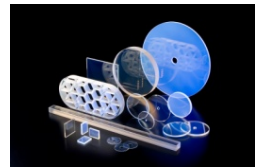
## ◆売上高 → 増収

- ・光学プレス品は一眼レフ、交換レンズ向けが好調で売上増
- ・光学ブロック品は半導体装置向け高均質光学ガラスが売上減
- ・HD用ガラス基板材はノートパソコン向けを中心に売上増

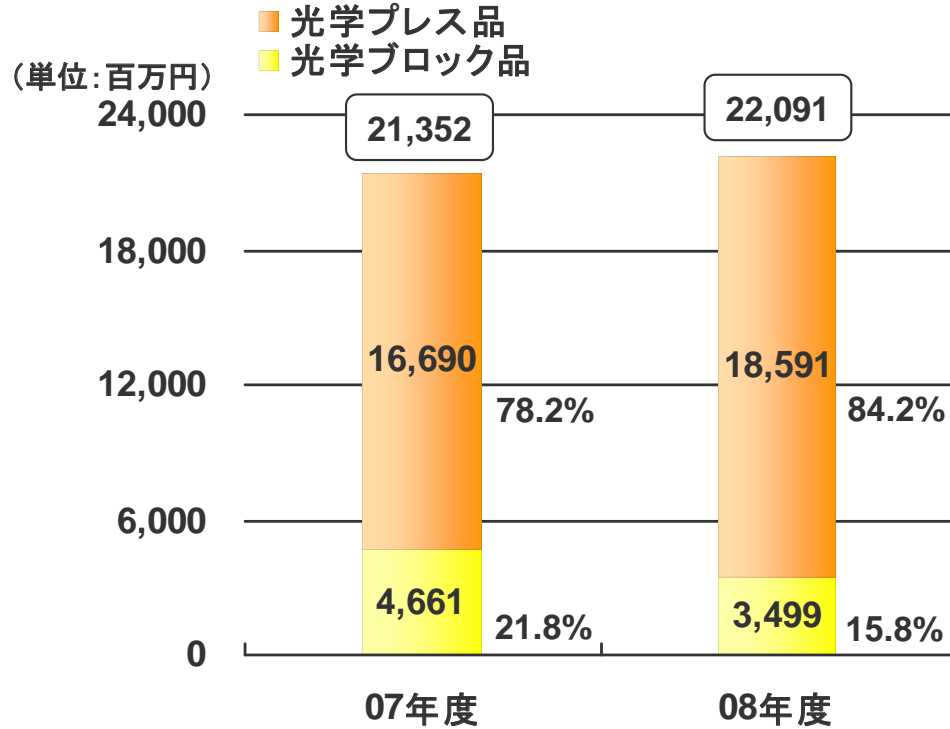


## ◆営業利益 → 減益

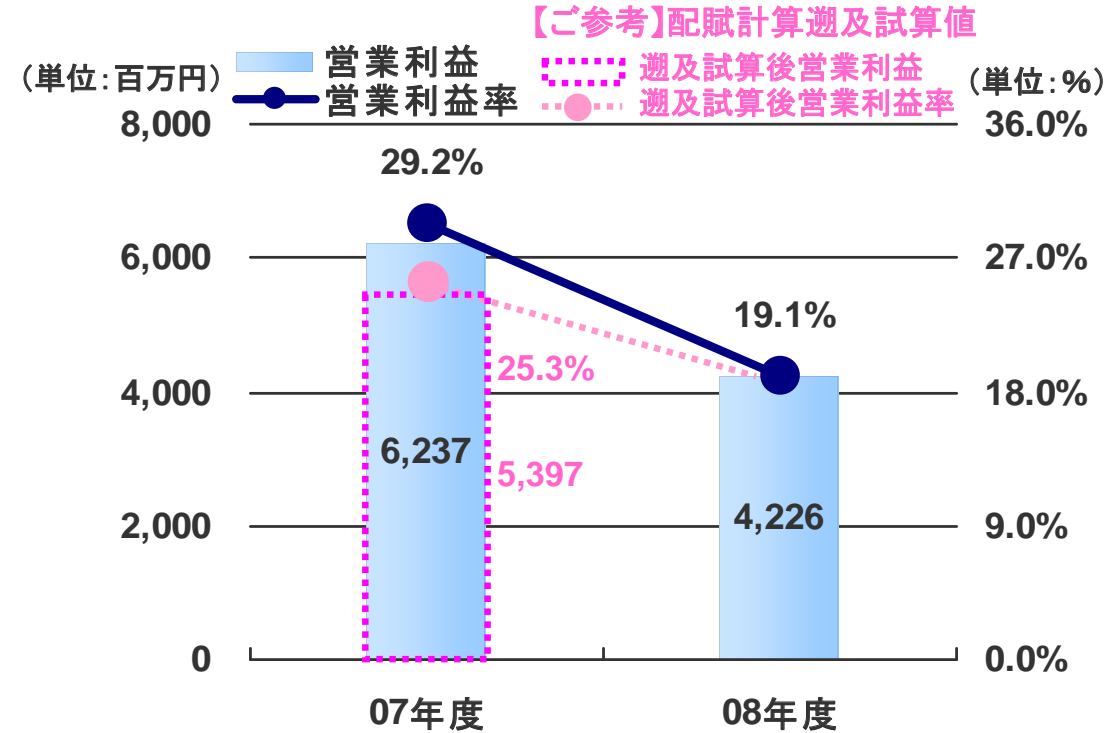
- ・光学プレス品は原材料高騰、製品価格下落により減益
- ・光学ブロック品は半導体装置向け高均質光学ガラス需要減で減益
- ・HD用ガラス基板材は量産効果で増益



## 売上高



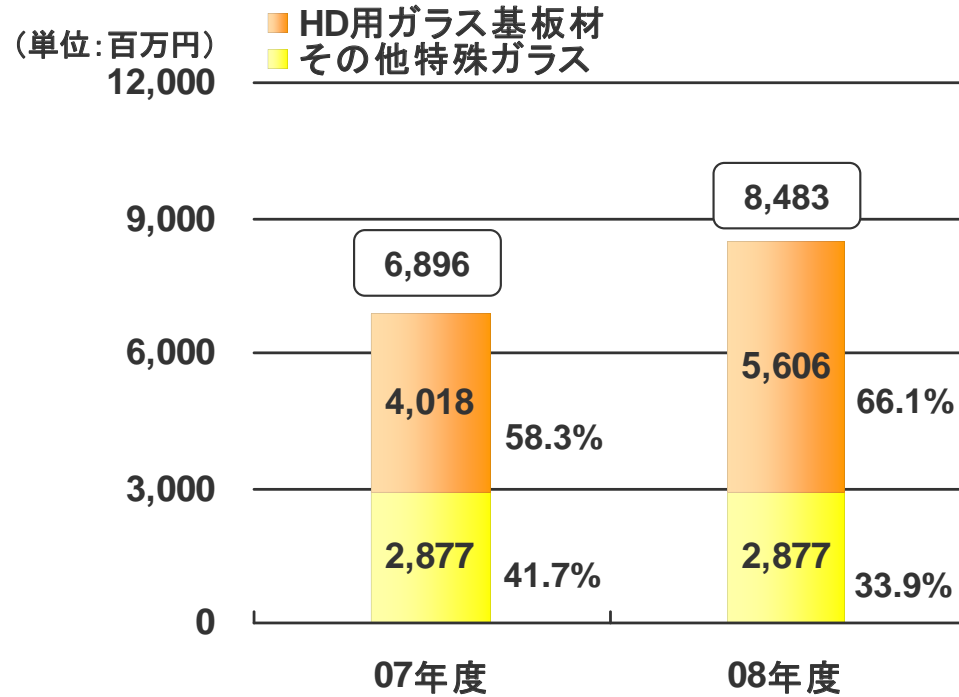
## 営業利益



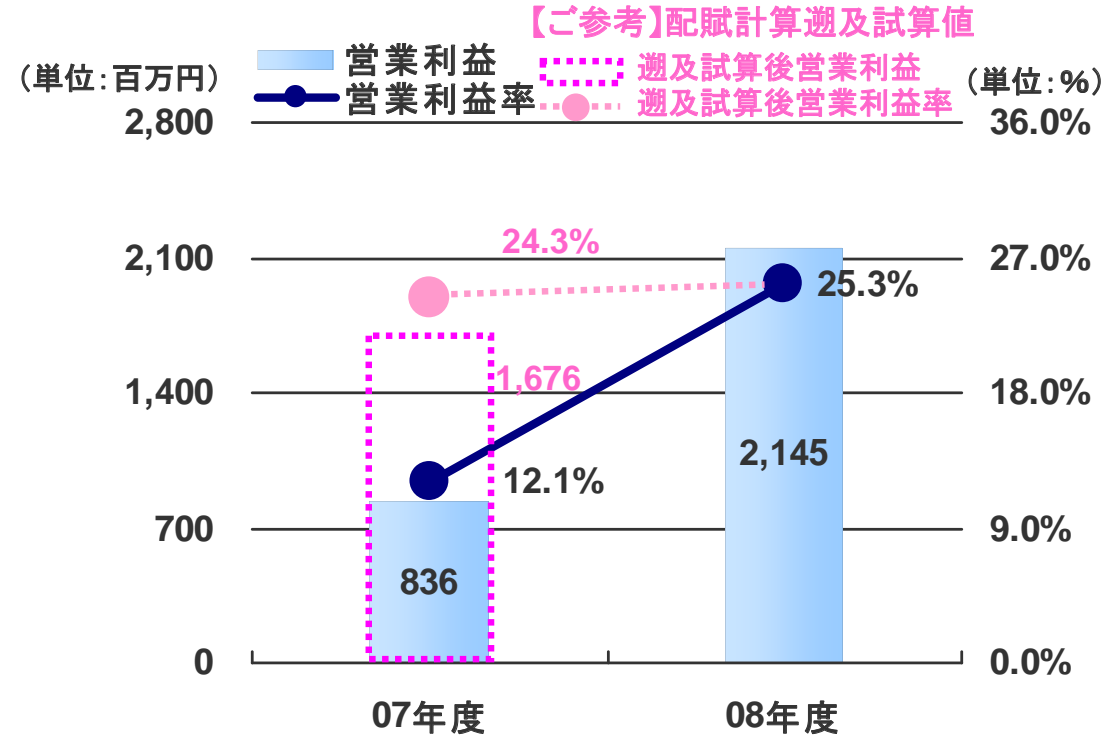
(単位:百万円、%)

|      | 07年度   |       | 08年度   |       |        |       | 増減(対前年) |        |
|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|--------|
|      | 実績     | 対売上   | 実績     | 対売上   | 予想     | 対売上   | 額       | 率      |
| 売上高  | 21,352 |       | 22,091 |       | 21,900 |       | 739     | 3.5%   |
| 営業利益 | 6,237  | 29.2% | 4,226  | 19.1% | 5,100  | 23.3% | △2,011  | △32.2% |

## 売上高



## 営業利益



(単位:百万円、%)

|      | 07年度  |       | 08年度  |       |       |       | 増減(対前年) |        |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|
|      | 実績    | 対売上   | 実績    | 対売上   | 予想    | 対売上   | 額       | 率      |
| 売上高  | 6,896 |       | 8,483 |       | 7,700 |       | 1,587   | 23.0%  |
| 営業利益 | 836   | 12.1% | 2,145 | 25.3% | 2,100 | 27.2% | 1,309   | 156.6% |

# 財政状況

(単位:百万円)

|           | 07年度   | 08年度   | 増減額    |
|-----------|--------|--------|--------|
| 現金・預金     | 10,520 | 6,274  | △4,246 |
| 受取手形・売掛金  | 8,935  | 11,013 | 2,078  |
| たな卸資産     | 5,125  | 8,306  | 3,181  |
| その他流動資産   | 2,224  | 2,256  | 31     |
| 流動資産合計    | 26,806 | 27,851 | 1,044  |
| 有形固定資産    | 20,343 | 26,323 | 5,979  |
| 無形固定資産    | 50     | 69     | 18     |
| 投資その他の資産  | 9,122  | 6,149  | △2,972 |
| 固定資産合計    | 29,516 | 32,542 | 3,025  |
| 資産合計      | 56,323 | 60,394 | 4,070  |
| 流動負債      | 7,936  | 13,221 | 5,284  |
| 固定負債      | 4,194  | 2,958  | △1,235 |
| 負債合計      | 12,131 | 16,179 | 4,048  |
| 純資産(資本)合計 | 44,192 | 44,214 | 21     |
| 負債・純資産合計  | 56,323 | 60,394 | 4,070  |

# キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|             | 07年度   | 08年度   | 増減     |
|-------------|--------|--------|--------|
| 営業活動        | 4,834  | 4,652  | △182   |
| 投資活動        | △5,825 | △4,272 | 1,553  |
| フリーキャッシュフロー | △991   | 380    | 1,371  |
| 財務活動        | △2,087 | △3,243 | △1,156 |
| 現金等の残高      | 9,160  | 6,208  | △2,952 |

## ◆自己株式の取得

---

## ◆株式会社オハラ・クオーツの連結子会社化

---

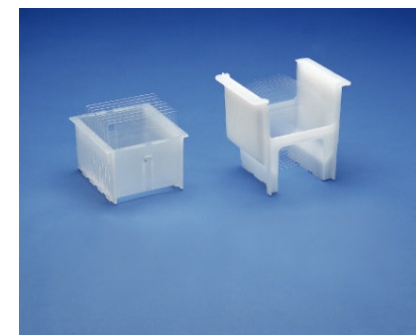
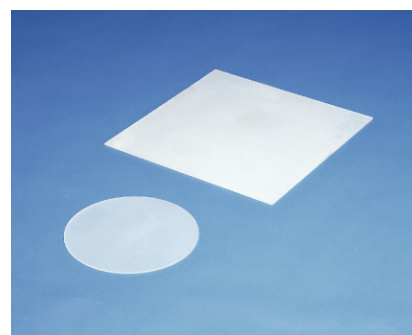
- ・相互の顧客基盤活用による提案機会の拡大
  - ・高精度加工技術、精密計測技術等の技術融合
  - ・製品ラインナップ拡充によるブランドイメージの向上
- 

## ◆岡本硝子株式会社との業務・資本提携

---



# 2009年10月期 業績見通し他



# 業績見通しサマリー

(単位:百万円、%)

|       | 08年度   |       | 09年度   |       | 増減(対前年) |        |
|-------|--------|-------|--------|-------|---------|--------|
|       | 通期実績   | 対売上   | 通期予想   | 対売上   | 額       | 率      |
| 売上高   | 30,574 |       | 26,300 |       | △4,274  | △14.0% |
| 売上総利益 | 11,816 | 38.6% | 7,680  | 29.2% | △4,136  | △35.0% |
| 営業利益  | 6,372  | 20.8% | 1,910  | 7.3%  | △4,462  | △70.0% |
| 経常利益  | 6,458  | 21.1% | 2,130  | 8.1%  | △4,328  | △67.0% |
| 当期純利益 | 3,915  | 12.8% | 1,370  | 5.2%  | △2,545  | △65.0% |

# セグメント区分の変更

## 最終用途を考慮した区分に修正

従来(～2008年10期)

光学製品事業

光学プレス品

光学ブロック品

情報製品事業

HD用ガラス基板材

その他特殊ガラス

今後(2009年10月期～)

光事業

光学プレス品

光学ブロック品

エレクトロニクス事業

HD用ガラス基板材

その他特殊ガラス

石英

セグメント名称の変更

光学ブロック品のうち、エレクトロニクス関連機器に使用される製品をその他特殊ガラスへ移動

オハラ・クオーツの石英事業を編入

急激な経営環境の悪化により、  
光事業、エレクトロニクス事業とも減収減益。

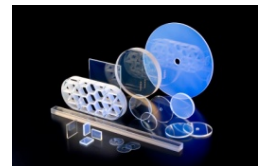
## ◆売上高 → 減収

- ・光事業製品は、デジタルカメラ向け需要が調整局面に入り大幅減少
- ・HD用基板材は、ノートパソコン市場の在庫調整により減少
- ・石英事業へ参入するも、エレクトロニクス事業全体としては減収



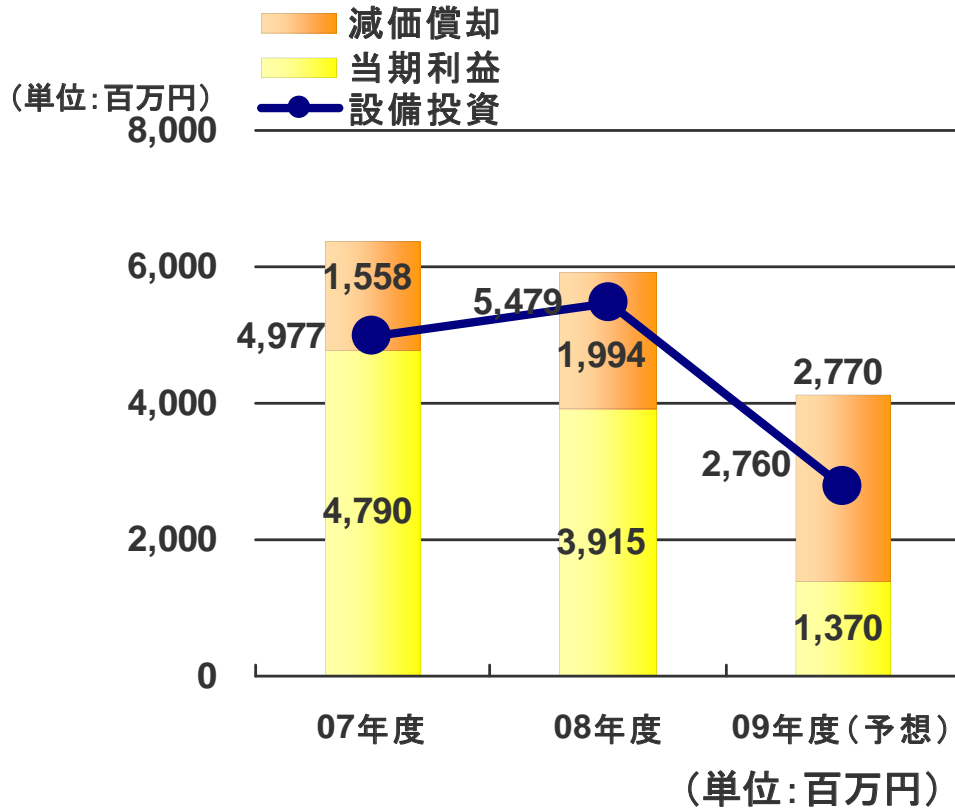
## ◆営業利益 → 減益

- ・光事業製品は、需要減により大幅減益
- ・HDガラス基板材は、需要減により減益
- ・石英は、半導体不況により苦戦



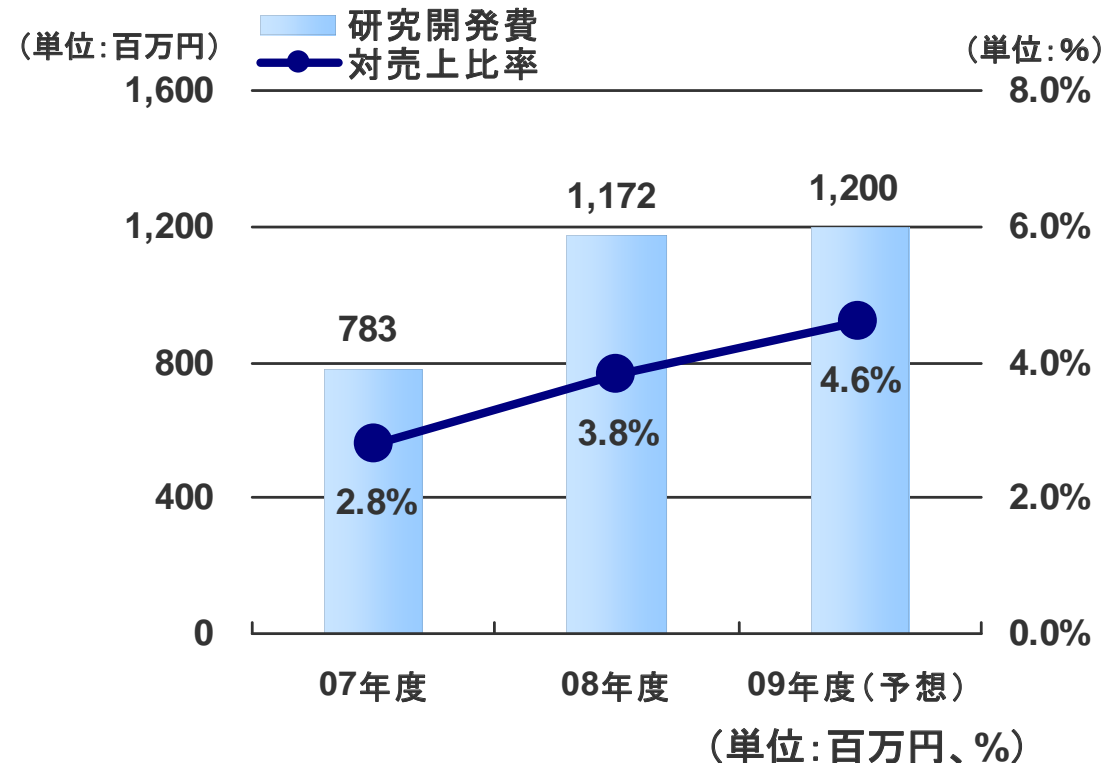
# 設備、減価償却、研究開発費見通し

## 設備、減価償却



|      | 07年度  | 08年度  | 09年度(予想) |
|------|-------|-------|----------|
| 減価償却 | 1,558 | 1,994 | 2,770    |
| 当期利益 | 4,790 | 3,915 | 1,370    |
| 設備投資 | 4,977 | 5,479 | 2,760    |

## 研究開発費



|       | 07年度   | 08年度   | 09年度(予想) |
|-------|--------|--------|----------|
| 売上高   | 28,248 | 30,574 | 26,300   |
| 研究開発費 | 783    | 1,172  | 1,200    |
| 対売上比率 | 2.8%   | 3.8%   | 4.6%     |

# 中期経営計画達成状況

◆売上高、ROA、有利子負債率はいずれも達成

◆経常利益は、原材料価格の高騰等により未達

| 目標指標                | 08年度実績               |
|---------------------|----------------------|
| 売上高 286億円以上         | 売上高 305億円            |
| 経常利益 74億円以上         | 経常利益 64億円            |
| ROA(総資産経常利益率) 10%以上 | ROA (総資産経常利益率) 11.1% |
| 総資産有利子負債率 10%以下     | 総資産有利子負債率 9.3%       |

# 中長期の施策①ビジョン

われわれは、  
人と社会の未来創造へ貢献する高い志と変革への実行力を持ち、  
光とエレクトロニクス、環境・エネルギーの分野において、  
最高品質の先進素材を世界中に提供することで、  
お客様とともに技術を革新する「夢実現企業」となる。

人材像

事業ドメイン

提供する価値

目指す姿

- 価値観1 高い志と強い実行力
  - …高い社会貢献意識と変革の実行力を持った人材育成
- 価値観2 先進素材の提供
  - …我々の得意な素材分野の開発力・技術力を極める
- 価値観3 最高品質の追求
  - …品質にこだわる、顧客の信頼を裏切らない⇒オハラの遺伝子
- 価値観4 世界の顧客へ
  - …顧客の求める価値観を実現し、世界中にオハラの素材を！

## ビジョン

光事業は、  
成形技術の高度化で競合との差別化を推進するとともに、  
極限性能素材を提供することによって光の可能性を広げ、  
顧客と共に技術革新を起こし、光産業界のトップランナーとなる。

- ◆ プレス品の付加価値向上
- ◆ 低Tg光学ガラスのバリエーション拡大
- ◆ 既存生産設備の徹底効率化

## ビジョン

エレクトロニクス事業は、  
高付加価値分野へのシフトで、競合製品との差別化を促進する  
とともに、お客様の課題解決に貢献する機能性素材を、効率よく  
開発・製造・販売することで、  
安心・安全・快適な未来社会の創造へ貢献する。

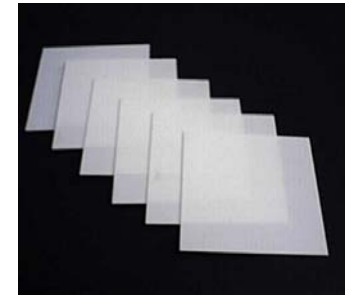
- ◆ ハードディスク事業の強化
- ◆ 極低膨張ガラスセラミックス事業の拡販体制の構築
- ◆ 石英事業のシナジー効果発揮



オハラは環境・エネルギー分野への進出を目指します

## リチウムイオン伝導性ガラスセラミックス(開発品)

化学的に安定かつ実用的なイオン伝導率を有しており、様々な固体電解質として応用が可能なガラスセラミックスです。安全性の高いリチウムイオン全固体二次電池として、事業化を検討しています。



## 太陽光発電用ガラス集光レンズの共同開発

2008年9月16日に、岡本硝子株式会社と、ガラス製太陽光発電向け集光レンズの業務、資本提携を行いました。今後、両社の技術を融合させ、高効率で耐候性の高い集光レンズの開発を進めていく予定です。

**OHARA<sup>®</sup>**